

心のこもった「あいさつ」を通して人や地域との絆を深める

ねがい

〈目的〉

人や地域社会との絆を大切にする児童生徒を育てるために、保護者や地域社会と協力して心のこもった「あいさつ」運動を推進することにしました。

つながり

〈内容〉

● 毎週月曜日のあいさつ運動

和光中学校校区内の3校は、それぞれが離れた位置関係にあり、また、児童生徒の家が離れていたり、通学距離が遠かったりするため、連携したあいさつ運動をしにくい環境にあります。そのため、それぞれがあいさつ運動日を設定し、各校毎に活動しています。和光中学校では、月曜日が部活動休養日で早朝練習もないため、第2月曜日に生徒会役員を中心に登校途中の交差点であいさつ運動を行いました。



【校内でのあいさつ運動】

● 保護者や地域の方とのあいさつ運動

財田町内では、交通指導員さんを中心とした交通立哨が毎月20日に行われています。また、和光中学校では毎月第1と第3月曜日に、財田上小学校では10日と20日に、財田中小学校では5日と10日と20日に保護者や職員が交通立哨を行っており、地域を挙げてみんなで児童生徒を見守る体制を整えています。



【校外でのあいさつ運動】

● 登校前の声かけ運動

生徒は家族や地域の方々を支えられて成長してきました。その感謝の気持ちを将来につないでいく必要があります。そこで中学校では、部活動を引退した3年生を中心に、登校前や登校時に会う小学生に、「おはよう、気を付けて行きよ」などの声かけをするように働きかけています。通学路や通学時間の関係で小学生とあまりすれ違わないようで、こちらが思うほどは実践できていませんが、年長者として年少者を思いやる心をあいさつを通して育てていきたいです。



【校外でのあいさつ運動】

高まり

〈成果〉

「中学生が元気なあいさつをしてくれるので、小学生のよい手本になっている」といった声をいただき、その話を中学生にもすることで、更に中学生のやる気にもつながってきているように思います。

今後は児童会と生徒会が合同で話し合う機会を作り、より効果的な取組を探ってまいります。